

総額 937.5万円の 24団体 助成決定

本事業は、NPO等市民活動団体の支援を通して、広く県民勤労者をはじめとする県民福祉の向上を図ることを目的に2003年度から実施しています。

本年度も、NPOや市民活動団体からの申込がありました(公募68団体、非公募1)。助成先の選考にあたっては、4月22日(日)に書類選考会を行い、5月20日(日)に、書類選考を通過した団体のうち8団体から助成事業のプレゼンテーションによる面接選考会を行いました。

選考の結果、24団体(公募23団体、非公募(若者就労支援事業)1団体)に対し総額937.5万円の助成を行うことを決定しました。

■応募団体の主な活動分野(応募総数68団体)

※非公募1団体除く

活動分野テーマ分類	件数
保健・医療又は福祉の増進を図る活動	19
子どもの健全育成を図る活動	11
まちづくりの推進を図る活動	10
学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動	8
環境の保全を図る活動	6
その他	14
合計	68

■実績累計

	応募団体	助成団体	助成金額(万円)
2015年度までの累計	806	245	11,834.1
2016年度	94	23	940.0
2017年度	53	18	902.3
2018年度	69	24	937.5
総累計	1,022	310	14,613.9

※2018年度応募団体内訳(公募68団体、非公募1団体)



〔これまでの助成団体の活動〕



▲NPO法人教員サポートSmileういんずは、学校現場の多忙化を改善するために、教職員OBが事務処理をサポートしています。過去、ろうきん財団で28校のモニタリング調査を助成したことで、学校現場にゆとりを与え、子どもの教育環境を充実させる取り組みへと繋がっています。

▲NPO法人ゆうわは、地域の農家がオオムギを栽培、収穫したオオムギをパンやシフォンケーキに加工販売しています。その調理器具をろうきん財団で購入し、障がい者の就労機会の拡充及び工賃アップに取り組みました。



▲4月末の成果報告会、5月末の面接選考会ともに、新潟市内にて公開で開催されます。

■選考委員

(順不同・敬称略)

氏名	所属
齋藤 敏明(選考委員長)	(一社)新潟県労働者福祉協議会
丸山 仁(副選考委員長)	新潟医療福祉大学
石本 貴之	認定NPO法人 新潟NPO協会
蒲木 みゆき	新発田市役所
加瀬 由紀子	環境カウンセラー協会
小池 由佳	新潟県立大学
近藤 尚仁	NPO法人 くびき野NPOサポートセンター
笹川 克年	新潟日報社報道部

(一財)新潟ろうきん福祉財団は、新潟県労働金庫が創立30周年を記念して、1983年に設立した一般財団法人です。

当財団は、広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的としてNPO等助成事業のほかにも、自立した持続可能な地域社会創造事業、高校生奨学金給付事業、大学生奨学金給付・貸与事業、ワーク&ライフフォーラム・セミナー開催事業、文化講演会等開催事業、ライフプランセミナー開催事業、調査研究事業を実施しています。

助成団体一覧

団体名	所在地	助成額 (万円)	助成金使 途
特定非営利活動法人 アビリティ燕	燕市	100	「トムの家(生活介護・就労継続B型)の開設」 6月に福祉作業所トム・ソーヤの分場で多機能施設(生活介護定員6人、就労継続B型増員6名)の事業所を立ち上げるようになりましたが、どうしても予算面で改修出来ないところが出てしまいました。身体障害を持つ利用者に対してお風呂やドアの引き戸、窓の設置、エアコンの交換などの改修をして、障害者の自立度を上げて就労を目指し社会に復帰することを旨とす。
フォルトネット	十日町市	100	「ひきこもり発 地域社会行き」出版プロジェクト―貴重な経験を伝えて、地域社会を笑顔にしよう― 不登校・ひきこもりを経験した当事者が、ねころんだ(居場所)での、自分達の活動を振り返り表現する(文章・写真・イラスト)事で、本作りに挑戦する。本を出版して地域社会にデビューする。【非公募(若者就労支援事業)】
特定非営利活動法人 自立支援ネットにいがた	新潟市	82	「乾燥野菜・乾燥果物の製造・販売の充実と年間を通じた平準化」 一昨年から住宅困窮から脱して生活再建を目指す人々による、新潟市内産を中心に県内産の野菜や果物を乾燥させた製品の製造・販売事業を行っており、今年度はその事業を充実させる。
特定非営利活動法人 ふくし後見ネット	見附市	58	「成年後見制度法人後見事業の推進」 見附市近郊の認知症・知的障害・精神障害などで、判断能力が不十分でない方の権利擁護のために福祉的な視点を重視した法人後見事業を当法人が実施する。この活動から住み慣れた地域で高齢者の方や障がい者の方が、安心して生活できるように、後見業務を法人として実施することで、社会貢献を目指しています。
NPO法人 ゆめ福祉会 夢工房	刈羽村	54.7	「ハウス内における舞茸栽培事業」 1)施設敷地内に建てた大型ハウス内において舞茸キノコの栽培を成功させる。2)栽培した舞茸を市場に販売し、収益を利用者の工賃に反映させる。
NPO法人 立野福祉会	佐渡市	51.8	「ホットパック真空包装機の購入」 高齢化と過疎化に伴い、買い物難民解消のために加工食材や加工食品(惣菜など)を提供する。
特定非営利活動法人 ワークスコープ北陸信越事業本部	新潟市	43.2	地域のおせっかいサポーター(市民ボランティア)が働くことに不安や困難を抱える若者の自立・就労を主体的に応援する活動 ～若者との信頼関係を築き、企業との出会いの場をコーディネートする取り組み～
NPO法人 南区たすけあい・ぱる	新潟市	41.8	「グルテンフリー食品開発販売にかかる試供・試食サンプル作成と広報活動」 米どころ新潟にて、米を使用したグルテンフリー商品の企画開発を行い障害者支援施設での商品製作、営業販売を実施し、障がい者の就労機会の創出による社会参加の実現を目的とする。
特定非営利活動法人 みらいずworks	新潟市	39.2	「にいがた教育フューチャーセンターみらせん2018LEARNING SHIFT～自立した18歳が育つNiigataであるために(仮称)」 「社会に開かれた教育課程」をめざし教育改革が進められるなかで、教員や学校関係者以外の一般の方々にも広く教育や学びに関心を持ってもらい、多様な参加者とともに、緊急度、重要度の高い教育課題をテーマに対話を通して、これからの新潟の教育を考える場をつくる。
特定非営利活動法人 新潟ねっと	新潟市	38	「ひきこもりと地域と人のしんぼじうむ(仮)」 生きづらさを抱える若者(当事者)へ向けたイベントの開催。当事者同士のつながりの構築と自信の回復を図るイベントの開催を目指す。
特定非営利活動法人 フードバンクにいがた	新潟市	33.2	「NPO法人設立記念・普及・拡大キャンペーン」 2017年12月、任意団体からNPO法人を取得しました。実質2018年度からNPO法人の活動が始まります。これを機会にフードバンクを広げるためのパンフレットの刷新や新しい活動としての「母子家庭世帯への食糧支援事業」に取り組みることにより、事業拡大を図り、支援事業への理解者や支援者の増大を図ることにより、生活困窮者の方への支援を容易にしていこうとすることを目的とします。
青山保安林まもり隊	新潟市	32	「林内作業運搬車導入事業」 当会が整備している海岸保安林は黒松が生育しているが、近年マツクイムシの被害が拡大し、市が伐倒、燻製した大木が多数散在し整備作業に支障をきたしている。樹齢50～60年の大木は人力での搬出が困難なため機械導入が必要である。
一般社団法人 新潟こども未来塾	新潟市	30	「児童養護施設退所生住居支援 シェアハウスのためのエアコン購入事業」 児童養護施設を退所した子どもに住居を提供、居室、共同スペースに冷房器具を設置。生命の安全を脅かされることなく安心して暮らせる環境から自立につなげていく。
特定非営利活動法人 新潟フェミニスト カウンセリングセンターまど	新潟市	30	「子どもと親の絆を育む実践と啓発の講座」 DVや虐待など逆境的家庭環境で育つ・育ったことはその人の人生にはかけがえのない影響を与える。早期に適切な養育支援や啓発を提供することでDVや虐待の連鎖を防止する。
特定非営利活動法人 女のスペース・にいがた	新潟市	29	「ステップハウス入居者及び相談者等(以下「相談者等」とする)へのパソコン研修」 当スペースの相談者等へのパソコンの基礎研修を行うことにより、相談者等の就労支援を行う。
特定非営利活動法人 しんざ風の谷	十日町市	27	「しんざスマイルポイント事業(新座地域高齢者生活支援事業)」 十日町市新座地域においても高齢化が進行しており、日常的な家事労働を行うことが年々困難な世帯が増加していることから、地域の有償ボランティアを活用した高齢者の生活支援サービスを実施する。また、参加ボランティアへポイントを与え、一定数により地域の商店等で利用できることとし、地域経済活性化へつなげることを目指す。
特定非営利活動法人 教員サポートSmileういんず	新潟市	25.6	「事務作業サポートの発信と啓発(その忙しさ、私たちが手伝います!)」 本事業は事務処理に特化したサポート事業である。昨年度各学校で実施したモニタリングにより、事務作業サポートが教職員の多忙化解消に大きく寄与することを痛感した。しかし、本サポートの運営は会費運営に頼る部分が大きいため、財政的に厳しい現状にある。そこで、事務作業サポートを継続的・効果的に実施していくため、本格実施に向けての資金の助成をお願いしたい。
特定非営利活動法人 しば草会	新発田市	25	「ガスオープン購入事業」 自主製作であるクッキーを焼くガスオープンに焼ムラが発生し始めて約5年、今年2月に大口受注があり、次年度以降も継続が見込めることとなった。現設備のオープンは平成11年に中古品として譲り受け、約19年以上が経過し、設備業者からは故障の心配を伝えられている。大口対応への継続した確実な納入へと併せて、品質安定を是非図りたい。
りてらこや新潟	新潟市	22	「「外国につながる子どもの今」(仮)出版事業」 新潟県に住む外国につながる子どもの実態を広く一般市民に知ってもらおうと同時に、英語、中国語版をつけることで、今、日本での生活に苦勞している外国につながる子どもやその保護者に将来のビジョンを描く助けとなるようにする。また国際交流団体などには、事例集として、今後の外国人支援に役立ててもらおう。
特定非営利活動法人 緑とくらしの学校	上越市	20	「事業拡大のための環境整備事業」 森を子どもの育ちの場として活動しているが、近年森林整備の必要性が高まり、杉の間伐の促進、竹や広葉樹の利活用が大きな課題である。森林整備を安全に定期的に行うための体制づくりを進めることを目的としている。
特定非営利活動法人 新潟水辺の会	新潟市	16	「鳥屋野湯の五方良し・空芯菜竹筏事業」 鳥屋野湯の環境再生・発展のために、かつてのような湯資源の循環利用を未来に向けた湯周辺に開いた、地域の持続的な共有利用に発展させ、湯資源経活用用のソーシャルビジネスモデルを開発し「湯文化地域づくり」を実現する。
NPO法人 越後妻有里山協働機構	十日町市	14	「飛び出す(空間絵本)の道しるべ～アートから創り出す生きもの環境整備プロジェクト」 本事業では、これまで美術館の中で展開していた「空間絵本」を野外に広げ、十日町や近隣地域の保育園・小学校や地域内外の親子に対して、生きものや自然に対する意識を楽しく物語を体験しながらたかめることができる場をつくる。
特定非営利活動法人 五泉トゲンの会	五泉市	13.4	「地域の宝トゲンと登録文化財坂田家の保存―環境と歴史文化の絵巻物語りの始まり―」 当会は絶滅危惧種トゲンと国登録有形文化財坂田家の保存を行ってきた。今まではトゲンの会が坂田家を借り活動してきた、この度坂田家の発展と基盤づくりを目指し、法人化を進めたい。そして坂田家が独自に地域で利用・活用され、将来にわたり維持ができることを目的とする。また、その魅力づくりの第一歩として「歴史文化の絵巻物語」を展開したい。具体的には坂田家の一般公開や漆器の備品を使った事業展開を始めていくことを目的とする。
そらいろ子ども食堂	新潟市	11.6	「そらいろ子ども食堂(調理器具の更新)」 現在使用している調理器具の多くは寄付物品を利用していますが、経年により動作が不安定な調理器具もあります。安全でおいしい食事を提供するために古い調理器具の更新を行います。
合 計 (24団体)		937.5	